

<2010年12月1日 改訂>

CPD資格更新の概要

— 継続教育開発 (CPD) —

Continuous Professional Development

一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会
資格制度委員会

2010. 12. 01

1. CCMJ 資格更新制度について

- ① なぜCPD研修と登録更新が必要か？
- ② 資格更新手続きの改定概要
- ③ 資格更新手続き（詳細説明）

2. 継続教育開発（CPD）について

- ① CPD研修手帳の概要
- ② CPDプログラム
- ③ CPD研修申請方法・記入例
- ④ CPD管理のアドバイス
- ⑤ CPD審査体制

なぜCPD研修と登録更新が必要か？

- CCMJ資格試験に合格しても、5年も経てば社会環境は変化し、自己啓発しなければ個人の知識はやがて陳腐化します・・・（つまりペーパードライバーと同じ）
- 顧客・社会からの多様化するニーズに対応するため、CMrは絶えず最新の知識を吸収し、多くの経験により能力向上を図り、すぐに活用できる状態にしておくことが重要です。
（新技術、複雑系問題解決、法改正、コンプライアンス、グローバル化・・・）
- （実務）＋（活動・参加）＋（自己学習）のプログラムを組み合わせたCPD研修を継続して行うことにより、自分のCM知識・経験・能力を高めることが可能です。

資格更新手続きの改定概要 (※赤は改定点)

会員であればCCMJ資格は失効しません
CCMJ合格者＋会員＝資格保有者
(「更新しないと失効」となった現行制度の改訂です)

更新手続きによって資格は有効となります
資格保有者＋更新手続き＝有効資格

◆ 更新手続きには2種類あります

① CPD研修で所要ポイント取得

- ・登録証に「CPD研修修了」と明記し、協会HPに修了者の名前を掲載
- ・所要ポイント: 20ポイント／年(現行30ポイント)
- ・更新期限猶予期間: 2年間(現行は猶予期間なし)
- ・更新手数料: ¥3,150円

② 課題論文審査合格(新設)

- ・資格制度委員会から提示のテーマでA4-1枚程度
- ・登録証にCPD修了の記載なし
- ・更新手数料: ¥15,750円

期限後の更新手続きは
年2回(2月、8月)受け
ます

CCMJ登録証の抹消、失効（※赤は変更点）

- ・CCMJ試験に合格し、初回に資格登録された方は、その後協会会員であり続ける限り、CCMJ資格は「失効」とはなりません。
- ・しかし、更新期限を過ぎても更新手続きを行わない場合、新登録証を取得するまでの期間については、旧登録証は「失効」とはならず、「有効」ではない扱いとなります。
- ・CCMJ資格登録者が協会会員でなくなった時点で、本資格は「無効・抹消」となります。

《 参考（CCMJ資格制度規程） 》

第7条（資格の抹消）

CCMJ 資格者が CCMJ 登録証の有効期間において、何らかの理由により日本 CM 協会の会員を「退会」、「資格の喪失」、または「除名」となった場合（日本 CM 協会定款：第10条、第11条、第12条）、または資格者が死亡した場合、CCMJ 登録証は無効となり、CCMJ 資格は「抹消」となる。

CPD研修の流れ（1年目）

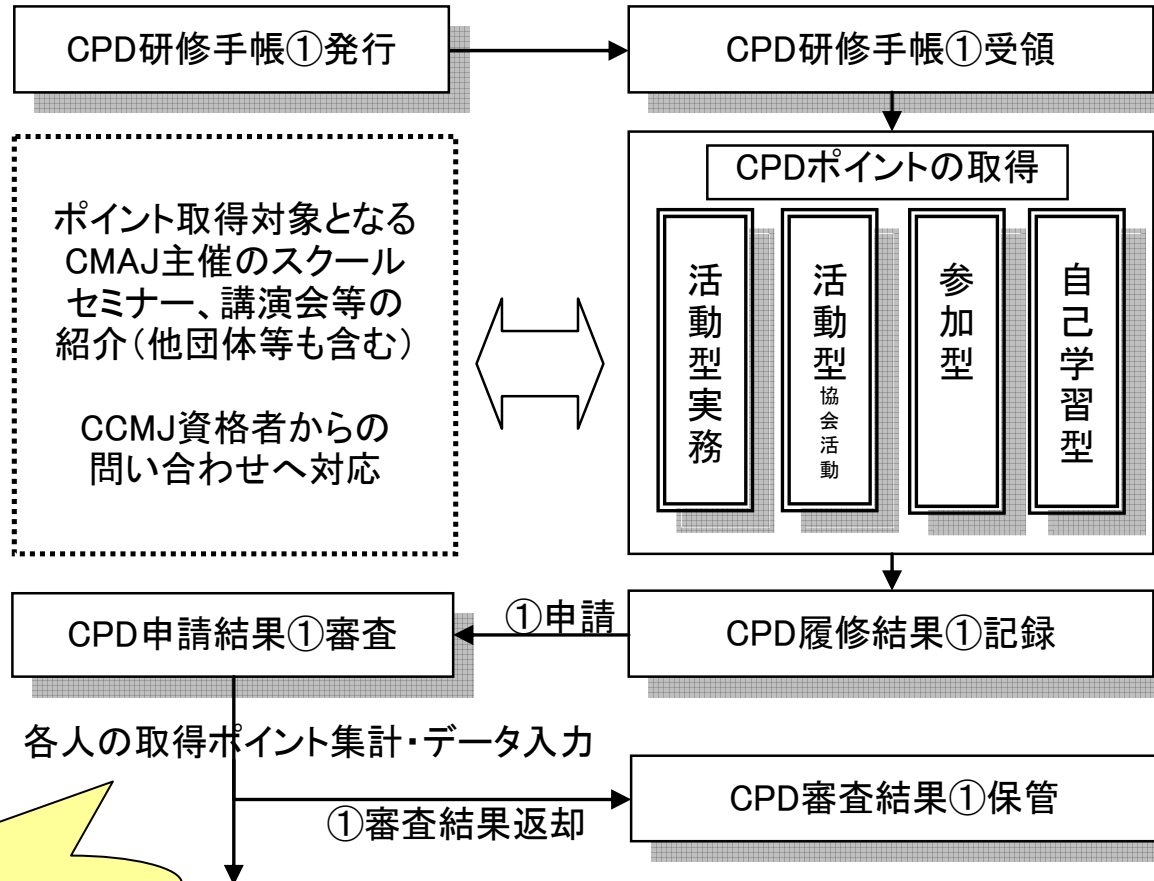
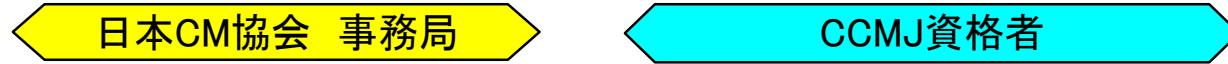
翌年2月に登録証を受領してから有資格者となります

2月 本人へ発送



11月末事務局へ返送
翌年
12月～翌年1月審査

1月末本人へ返却



一年目のCPD研修サイクル

必須ではないが毎年提出し履修結果の確認が望ましい

毎年10月頃に1年目履修結果の提出依頼をします

CPD研修の流れ(2年目～更新時)

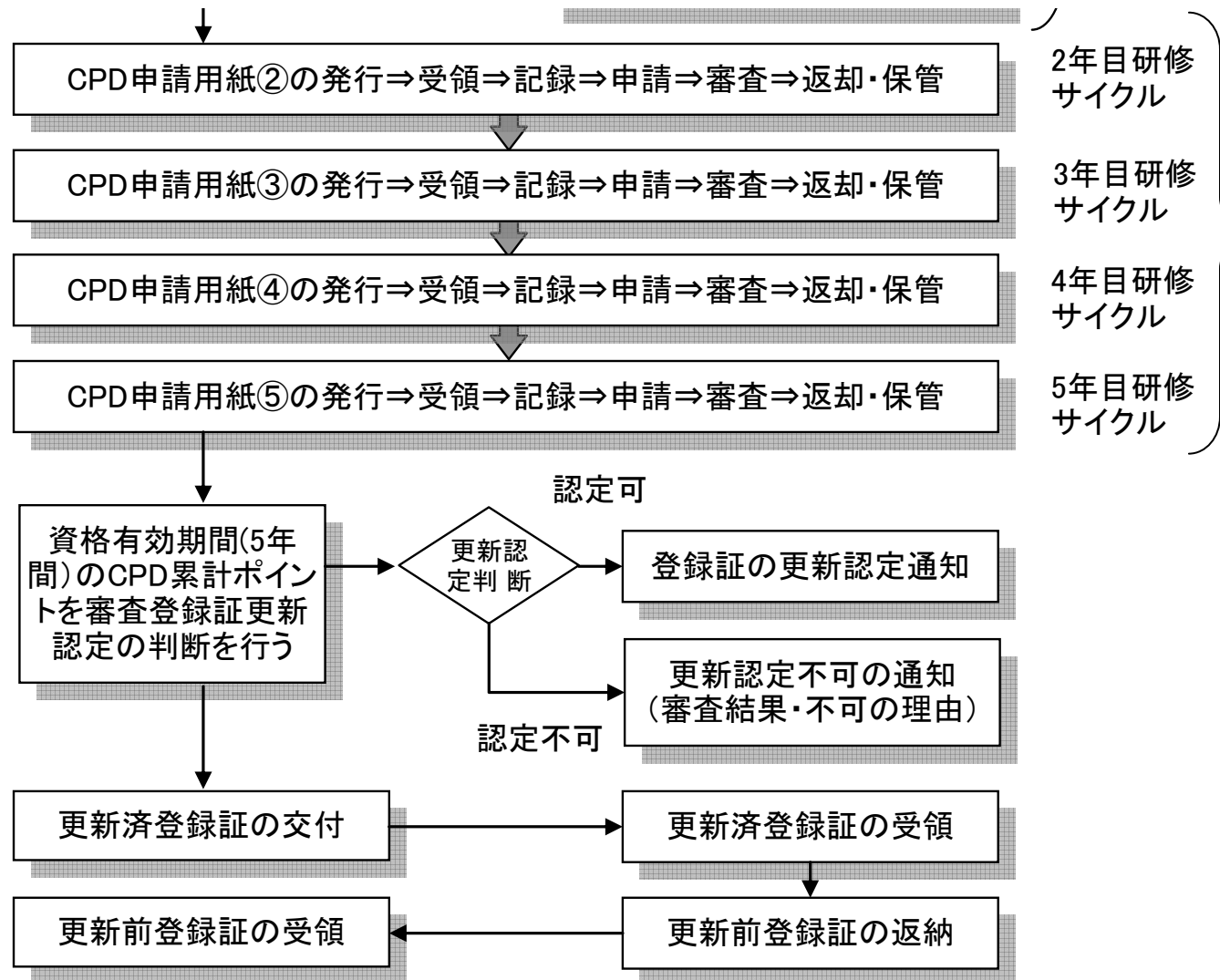
各年度毎にCPD
申請用紙を発行

CPD取得ポイント状況
はCMAJホームページ
より閲覧可能

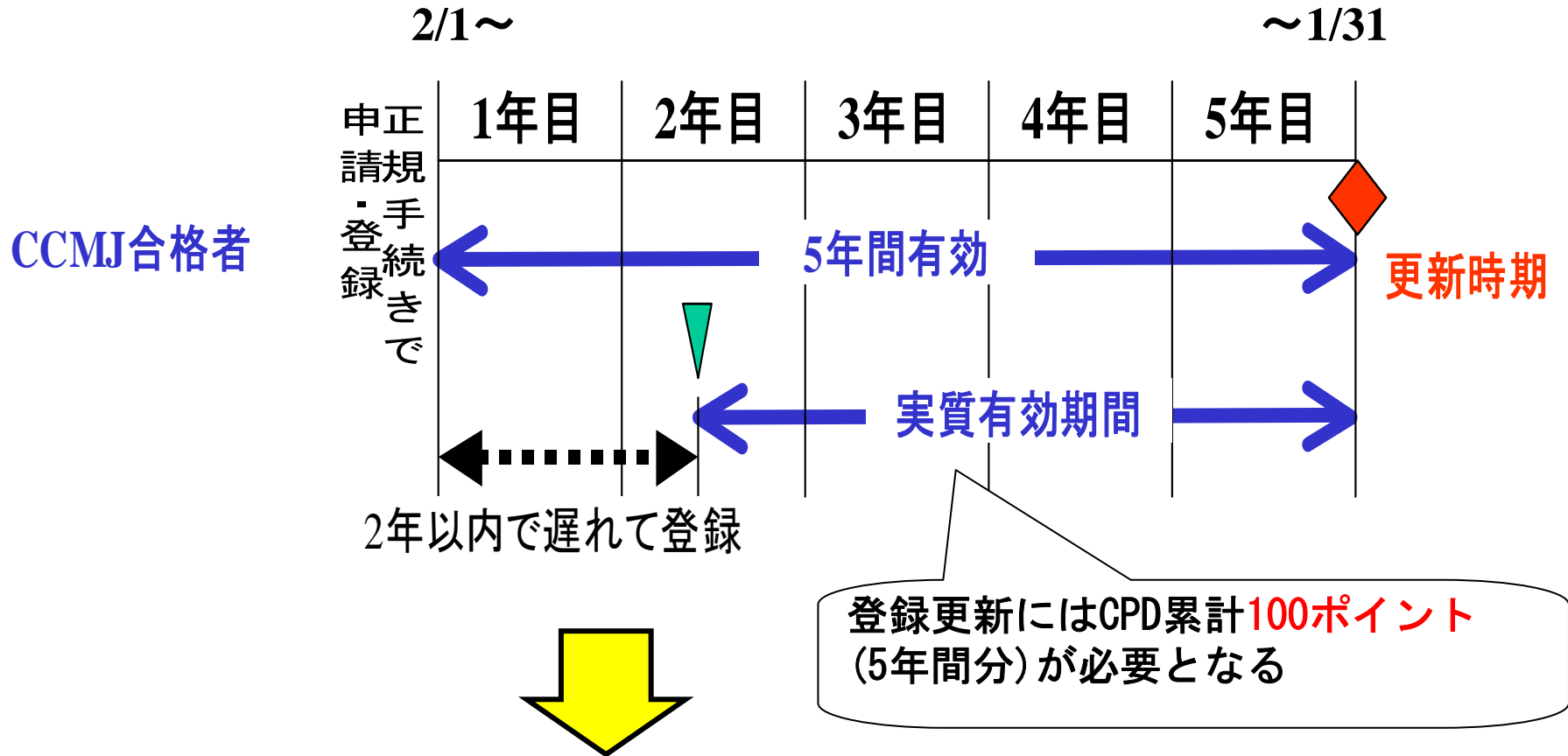
5年目は11月末で
CPDポイント取得
を締め切り、返送

12月～翌年1月
CPDポイントを集計、
審査、認定可否の
結果を通知

2月上旬 登録証の
更新認定可の対象者へ
更新済登録証を交付



初回登録時の登録証有効期間

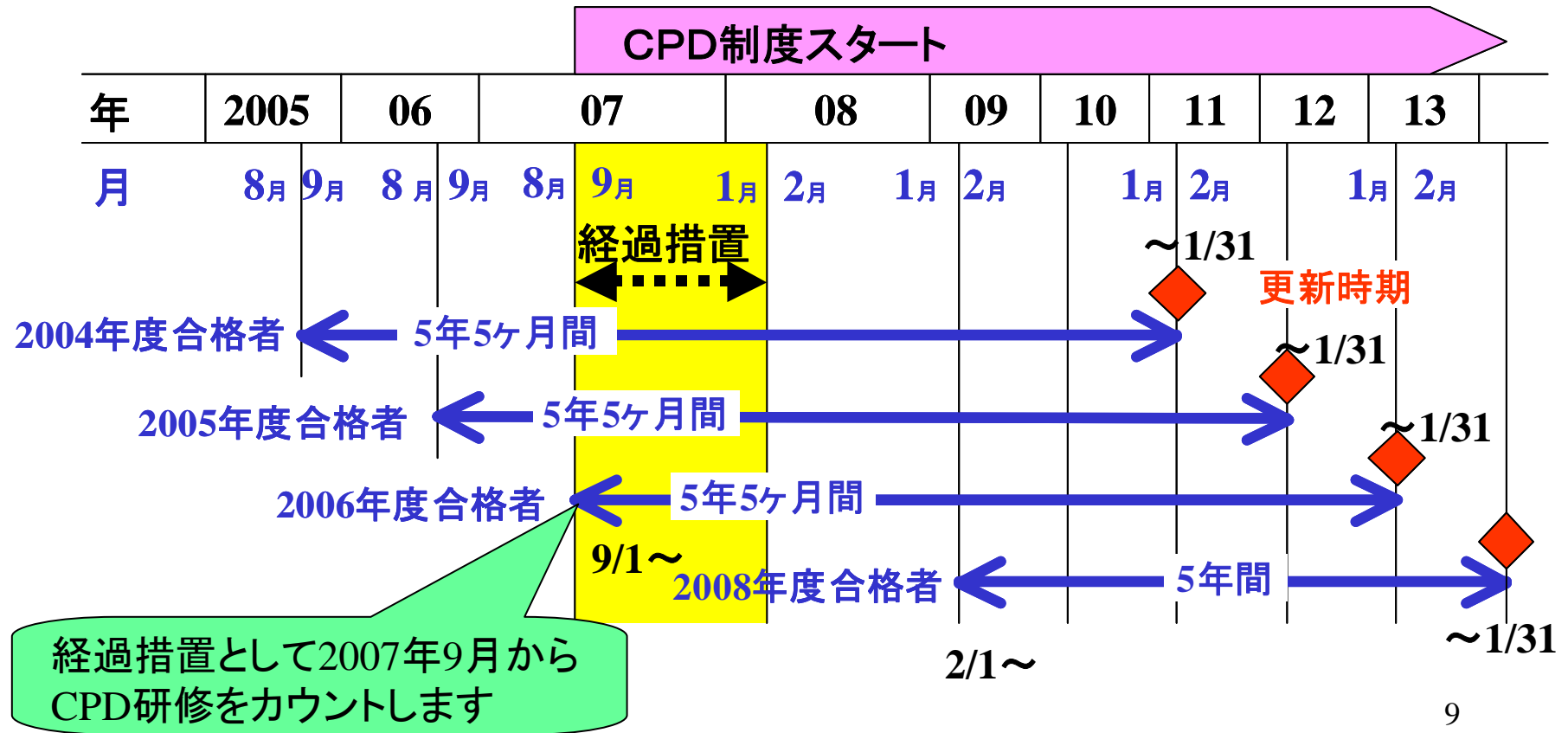


(注) 早く登録しないと、登録証の有効期間が短くなります。

資格有効期間の経過措置とCPD研修期間

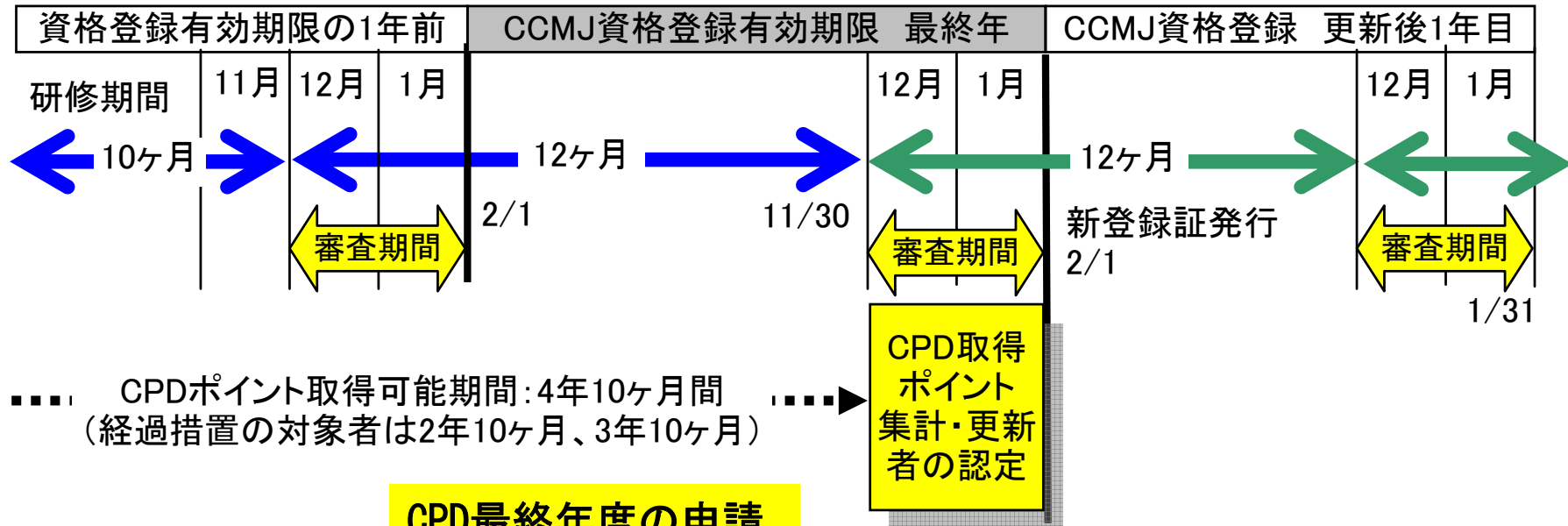
・ CCMJ資格登録証の有効期間は「原則5年間」

※ 2004年度・2005年度・2006年度の登録者は、経過措置として登録証の有効期間を5ヶ月間延長しました。



CCMJ登録証の更新手続き

‘04～’06年度の有資格者の初年度
研修期間は、’07.9月～’08.11月まで



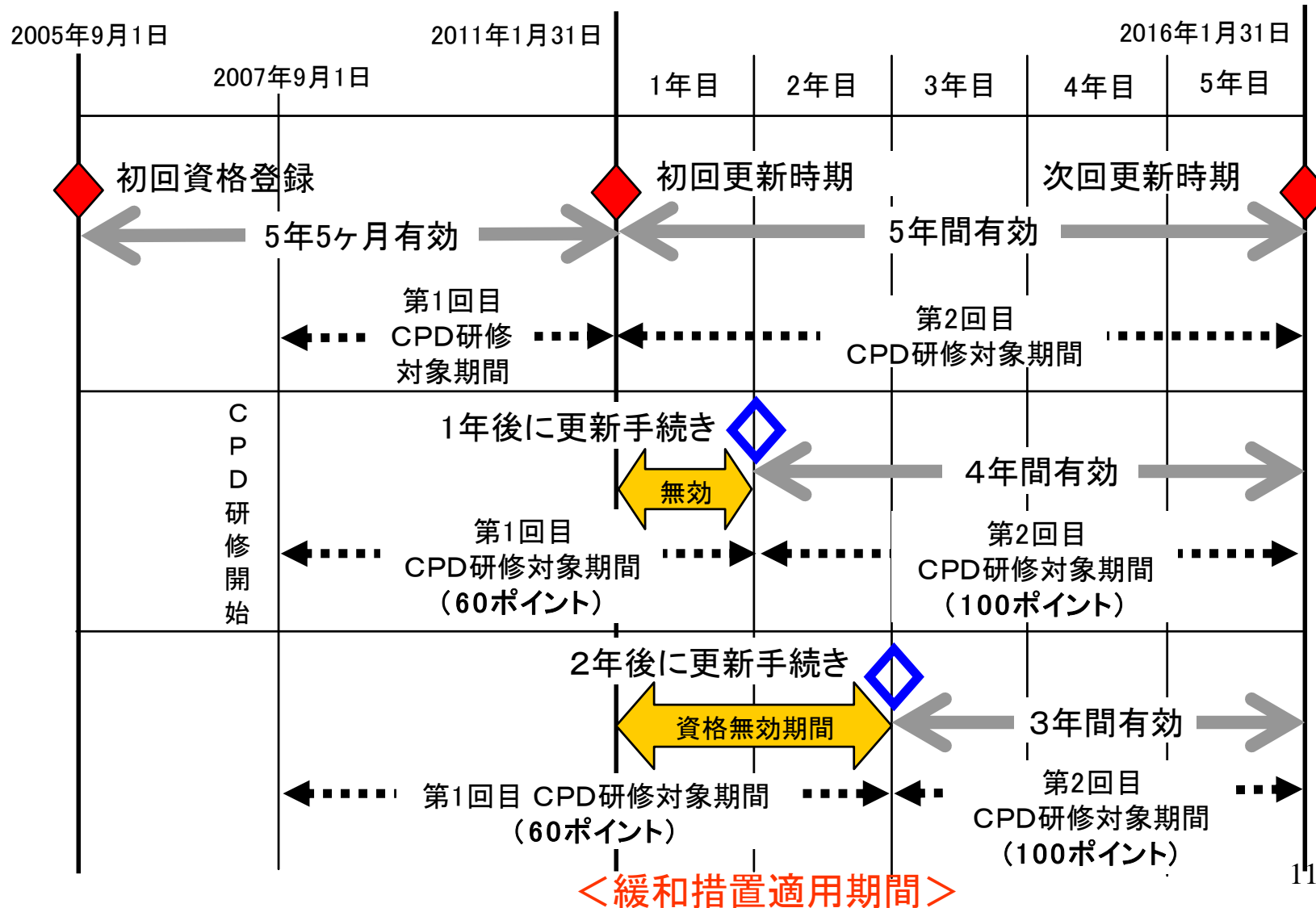
CPD最終年度の申請

< CPD更新手続き:最終年CPDポイント集計・審査・認定 >

毎年ごとにCPD履修ポイントを確認しておけば、
最終の年は安心して更新手続きできます！

更新期限を過ぎた場合のCPD研修 緩和措置

(例) 2004年度資格登録者の更新手続きと有効期間



- CCMJ初回登録者全員に「CPD研修手帳」を発送
- CMAJホームページに「CPD研修手帳」の欄を掲載
(制度の変更箇所はメール・ホームページで都度周知します)
- CPD研修手帳の目次
 1. 所有者記載事項
 2. CCMJ資格制度規程
 3. CPD申請 記入要領
 4. CPD申請 記入例
 5. CPD申請 記入シート
 6. CPDとして認定する団体リスト

サンプル

2006年度版
認定コンストラクション・マネジャー
Certified Construction Manager of Japan
CCMJ
CPD 研修手帳
(継続能力開発)

氏 名	
CMAJ会員番号	
CCMJ 登録証交付番号	
CCMJ 登録証交付日	2007年9月1日
CCMJ 登録証有効期限	2013年1月31日
CPDポイント 取得期間	5年間

日本コンストラクション・マネジメント協会

サンプル

2006 年度版
認定コンストラクション・マネジャー
Certified Construction Manager of Japan

CCMJ

CPD 研修手帳 (継続能力開発)

氏 名	
CMAJ会員番号	
CCMJ 登録証交付番号	
CCMJ 登録証交付日	2007年9月1日
CCMJ 登録証有効期限	2013年1月31日
CPDポイント 取得期間	5年間

日本コンストラクション・マネジメント協会

<CMAJ倫理規程>

日本コンストラクション・マネジメント協会 倫 理 規 程 <small>2002年6月5日制定 2004年6月2日改定</small>	
第1章 総 則	
(目的)	第1条 本規程は、本会員（以下会員という）がコンストラクション・マネジメント業務（以下CM業務という）を遂行する上で遵守すべき倫理を定め、もって、会員が遂行するCM業務の健全性を担保し、CM業務に対する社会の信頼をから得ていくことを目的とする。
(適用範囲)	第2条 本規程は、会員に適用する。
第2章 倫 理 綱 領	
(信義誠実)	第3条 会員は、信義に従って、誠実かつ公正にCM業務を行う。
(信用の維持)	第4条 会員は、信用を維持するとともに、品位を高めるように努める。
(科学的判断)	第5条 会員は、CM業務を遂行するにあたり、利益にとらわれず、かつ科学的判断をゆがめずに行うべきである。
(専門的知識の維持)	第6条 会員は、CM業務に関する専門的知識の維持向上に努める。
第3章 一 般 規 程	
(広告宣伝)	第7条 会員は、CM業務に関して、品位・信用を損なう方法又は内容の広告や宣伝をしてはならない。
(委託の勧誘)	第8条 会員は、不当な目的のため、又は品位・信用をそこなう方法によって、CM業務の委託を勧誘し又は誘発してはならない。
(委託者の対価)	第9条 会員は、CM業務の委託又は紹介を受けたことに対する謝礼その他の対価を支払ってはならない。
(法令等の遵守)	第10条 会員は、CM業務を遂行するにあたり、違法な手段を用いてはならない。
第11条 会員は、違法行為を助長し、又はこれらの行為を利用してはならない。	
(公序良俗に反する事業への参加)	第12条 会員は、公序良俗に反する事業を営み、若しくはこれに加わり、又はこうした事業に自己の名を利用させてはならない。
第4章 委託者との関係における規律	
(秘密の保持)	第13条 会員は、CM業務を遂行する上で知り得た委託者の秘密を正当な理由なく他に洩らし、又は利用してはならない。
(利害関係等の告知)	第14条 会員は、CM業務を遂行するにあたり、プロジェクト関係者との利害関係等、委託者との信頼関係をそこなうおそれのある事情があるときは、委託者に対して、その事情を告げなければならない。
(委託の趣旨の明確化)	第15条 会員は、CM業務を受託するにあたり、受託の趣旨、内容及び範囲を明確にするように努めなければならない。
(適正な報酬の明示)	第16条 会員は、CM業務を受託に際して、その適正・妥当な報酬金額又は算定方法を明示するように努めなければならない。

(委託者との紛議)	
第17条	会員は、委託者との信頼関係を保持して紛議が生じないように努めるとともに、万一紛議が生じた場合は、できる限り日本CM協会の紛議調停により解決するように努めなければならない。
第5章 他の会員との関係における規律	
(名誉の尊重)	第18条 会員は、相互に名誉と信頼を重んじなければならない。 (会員に対する不利益行為等)
第19条	会員は、他の会員の誹謗・中傷又は、正当な業務償行もしくは信義に反する行為等他の会員を不利益に陥れる行為を行ってはならない。
(他の会員のCM業務への介入)	第20条 会員は、他の会員がすでに受託しているCM業務に正当な理由なく介入しようとしてはならず、委託者の希望によってそのCM業務に協力する場合には、他の会員と委託者との間の信頼関係を尊重するように努めなければならない。
(他の会員の参加)	第21条 会員は、すでに受託しているCM業務について委託者が他の会員の参加を希望するときは、正当な理由なくこれに反対してはならない。
(会員間の紛議)	第22条 会員は、会員間でのCM業務に関して紛議が生じた場合、協議又は日本CM協会の紛議調停による円満な解決に努めなければならない。
第6章 会員以外のCM業務提供者との関係における規律	
(会員以外のCM業務提供者との関係)	第23条 会員は、会員以外のCM業務提供者との関係においても、第5章で定める他の会員との関係における規律を準用して、その遵守に努めなければならない。
第7章 プロジェクト関係者との関係における規律	
(プロジェクト関係者からの利益供与)	第24条 会員は、CM業務に関し、設計者、施工者等のプロジェクト関係者から利益の供与もしくは供応を受け、又はこれを要求し、もしくはその約束をしてはならない。
第8章 日本CM協会との関係における規律	
(法令等の遵守)	第25条 会員は、建築基準法、建築士法、建築業法等、CM業務に関わる法令のほか、日本CM協会が定める会則等を遵守しなければならない。
第9章 本規程に違反した場合の処置に関する規律	
(本規程に違反した場合の処置)	第26条 会員が本規程に違反した場合の処置は、別に定める懲戒規程によらなければならない。
第10章 補 則	
(委任)	第27条 本規程に定めるもののほか、会員の倫理に関する必要な事項は、理事会の議決を経て、会長が別に定める。
附 則	
本規程は、平成16年6月2日より実施する。	

CPD制度の研修プログラム

<p>実務活動型 (A, B)</p>	<p>(A) CM (PM) 業務のマネジメント実務経験 (B) CM (PM) 業務に関連する実務のマネジメント実務経験</p>
<p>協会活動型 (A, B)</p>	<p>(A) 日本CM協会への自主的活動参加（専門的・主体的な参加に限る） (B) 日本CM協会以外の専門団体等への自主的活動参加（専門的・自主的な参加に限る）</p>
<p>参加型 (A, B, C, D)</p>	<p>(A) 日本CM協会の総会に参加 (B) 日本CM協会主催の講習会等へ参加 (C) 日本CM協会主催のCMスクールに参加 (D) 日本CM協会以外の専門団体等主催の講習会等</p>
<p>自己学習型 (A, B, C)</p>	<p>(A) 機関誌、CM関連の雑誌記事等の理解 (B) CM関連の専門書等の理解 (C) CM業務に寄与する資格取得実績（更新は除く）</p>

上記4つのプログラムを2つ以上組み合わせて必要単位数を取得する（5年間で累計100ポイント以上必要）

CPDプログラム 実務活動型 (A)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

実務活動型 (A)

提出枚数 枚目 (計 枚の内)

氏名:

CCMJ 登録証交付番号: —

CPDプログラム	研修内容	単位算定の基本的考え方		区分記号
(A) CM(PM)業務のマネジメント実務経験	プロジェクトの責任ある立場等	8単位 ／1件	*プロジェクトの実施期間による割り増し係数* 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月～4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月～8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月～12ヶ月のプロジェクトx2.0倍 常駐しての業務の場合には1.5倍とする (注)1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で 段を分けて、年度ごとに算定式を記入する	実務-A-1
	プロジェクトの担当者	4単位 ／1件		実務-A-2
	業務推進組織の運営または統括マネジメント (主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、1件につき1単位とする。		実務-A-3

区分記号	プロジェクト名	業務期間	業務番号	業務概要と貴職の役割を簡単に記載する	申請単位	記入不要
実務-A-		開始年月				
		終了年月				
		期間(月)				
		算定式				

※ 活動型(実務)は1年間10単位が上限、残りは他のプログラムで取得する必要があります

CPDプログラム 実務活動型 (B)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

実務活動型 (B)

提出枚数 枚目 (計 枚の内)

氏名:

CCMJ 登録証交付番号: —

CPDプログラム	研修内容	単位算定の基本的考え方		区分記号	
(B) CM(PM)に関連する業務のマネジメント実務経験	プロジェクトの責任ある立場等	4単位 /1件	*プロジェクトの実施期間による割り増し係数* 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月~4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月~8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月~12ヶ月のプロジェクトx2.0倍 常駐しての業務の場合には1.5倍とする (注)1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で段を分けて、年度ごとに算定式を記入する	実務-B-1	
	プロジェクトの担当者	2単位 /1件		実務-B-2	
	業務推進組織の運営または統括マネジメント(主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、2件につき1単位とする。		実務-B-3	
	プロジェクト単位で区切ることが困難な業務(建設行政・維持管理・研究・教育等)	責任ある立場等の場合	1単位/月	担当者の立場の場合	0.5単位/月

区分記号	プロジェクト名 (業務名を記入する)	業務期間	業務番号	業務概要と貴職の役割を簡単に記載する	申請単位	記入不要
実務-B-		開始年月				
		終了年月				
		期間(月)				
		算定式				

※ 実務活動型は1年間10単位が上限、残りは他で取得要 16

CPDプログラム 協会活動型 (A)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

協会活動型 (A)

氏名:

CCMJ 登録証交付番号:

提出枚数

CMAJ機関誌へ投稿すると取得単位数が多い(5ポイント)!

CPDプログラム	研修内容	単位算定の基本的	
(A) CMAJへの自主的活動参加(専門的・主体的な参加に限る)	CMAJ機関誌およびその他出版物でCM業務に関連する記事の執筆(共著を含む)	5単位/1記事	協会-A-1
	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	10単位/1冊	協会-A-2
	同、講習会・パネルディスカッションでの講師	1単位/1時間	協会-A-3
	同、CMスクールでの講師	3単位/1コマ(75分) または 1単位/30分	協会-A-3
	同、委員会での活動	1単位/2時間	協会-A-4

区分記号	執筆した記事又は専門書講師を担当した講習会等講師を担当したCMスクール活動を行った委員会	年月日時 (記事・専門書の場合は発行日)	場所 (記事・専門書の場合は発行組織・支部等)	申請単位	認定単位 (記入不要)
協会-A-					

取得単位数に上限なし
年10単位以上でもOK!

本人が具体的な活動に参加していることが条件 (2時間で1単位GET!)

CPDプログラム 協会活動型 (B)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

協会活動型(B)

提出枚数 枚目 (計 枚の内)

氏名:

CCMJ 登録証交付番号:

CPDプログラム	研修内容	単位算定の基本的考え方	区分記号
(B) CMAJ以外の 専門団体等へ の自主的活動 参加(専門的・ 自主的な参加 に限る)	CMAJ以外でのCM業務に関連する出版物の記事執筆(共著を含む)	4単位/1記事	協会-B-1
	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	8単位/1冊	協会-B-2
	同、講習会・パネルディスカッションでの講師	1単位/1時間	協会-B-3
	同、委員会での活動	1単位/2時間	協会-B-4

区分記号	執筆した記事又は専門書 講師を担当した講習会等 講師を担当したCMスクール 活動を行った委員会	年月日時 (記事・専門 書の場合 は発行日)	場所 (記事・専門書の場合 は発行組織・ 支部等)	申請 単位	認定 単位 (記入 不要)
協会-B-					

CMに関連する団体活動ならは何でもOK! 本人が具体的な活動に参加していることが条件

取得単位数に上限なし
年10単位以上でもOK!

CPDプログラム 参加型 (A, B, C, D)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

参加型

提出枚数

氏名:

CCMJ 登録証交付番号: -

CMAJ総会・支部会
に出ると5単位GET!

CPDプログラム	研修内容	単位算定の基本的考え方	区分記号
(A) CMAJ総会	本部総会および支部総会に出席(総会後の講演会等は別ポイント)	5単位/1総会	参加-A
(B) CMAJ主催講習会等	CM業務に関連する講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席	1単位/1時間	参加-B
(C) CMAJ主催スクール	CMスクールへの出席	3単位/1コマ(75分) または 1単位/30分 (注)CMスクールをまとめて受講する場合は、累計単位の上限を1年間20単位とする	参加-C
(D) CMAJ以外の専門団体等主催の講習会等	CMAJ以外の専門団体等が主催した講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席、及び資格更新の講習会受講。	(注)1単位/1時間 ただし1年間20単位を上限とする。	参加-D

CMスクールを受講すると、一度にまとめて単位取得が可能

CM関連やマネジメント全般に関する講習会、講演会、セミナーなどはすべて「参加型」の対象となります。
● 1時間当たり1単位 GET!
(年間20単位が上限)

取得単位数に上限なし
年10単位以上でもOK!

区分記号	参加したCMAJ総会 出席したCMAJ主催の講習会等 出席したCMスクール	年月日時	場所	単位	(記入不要)

CPDプログラム 自己学習型(A, B, C)

CCMJ資格更新 CPD申請用紙

自己学習型

提出枚数 枚目 (計 枚の内)

氏名:

CCMJ 登録証交付番号: -

該当箇所 (○印)	区分記号	研修内容	単位
	学習-A-1	機関誌・雑誌記事等の理解 CMAJ機関誌記事等CMAJが認定したCM関連記事への研究(情報の要約と理解)	(2単位/1件)
	学習-A-2	機関誌・雑誌記事等の理解 CMAJ機関誌記事等CMAJが認定した記事以外で、CMに関連する記事への研究(情報の要約と理解)	(1単位/10頁)
	学習-B	専門図書等の理解 報告書・専門図書等の研究(情報の要約と理解)	(1単位/10頁) 上限10単位/年
	学習-C	資格取得への学習 CM業務に寄与する資格取得実績(更新は除く)	(2単位/1資格)
機関誌・雑誌名 専門図書名(出版社名) 取得資格名			年・月(週)・号(機関誌・雑誌) 発行日(専門図書等) 資格所得月日(資格取得) を記入。

CMAJ機関誌、日経アーキテクチャ/コンストラクション、建設関連の学会や業界団体の研究報告、書籍等、CM関連の記事をこまめに読んで、要約・見解をまとめておこう！

**取得単位合計に上限なし
年10単位以上でもOK!**

CMAJがCPDとして認定する社外団体

別表一A 他団体の活動や講演会等でCCMJの資格更新のCPDとして認定する団体等

活動型 (B)CMAJ以外の専門団体等への自主的活動参加(専門的・自主的な参加に限る)
(活協-B-1、活協-B-2、活協-B-3、活協-B-4に該当するもの)
参加型 (D)CMAJ以外の専門団体等主催の講習会等(参-Dに該当するもの)

改定 2008.06.03

1. CMAJに関連する社外団体のうち、CPDを独自に運用している団体：
参加は団体の会員に限定する場合もあるので注意のこと

対象者	団体名	CPD対象プログラム	支部等
建築士 建築設備士	建築CPD運営会議 (構成団体：日本建築士会連合会/日本建築士事務所協会連合会/日本建築家協会/建築業協会/日本建築学会/建築設備士関係団体CPD協議会/日本構造技術者協会/建築技術教育普及センター)	建築CPD情報提供制度 http://www.iaaic.or.jp/kcpd-program.htm 地域別に認定プログラム一覧	
建築士	(社)日本建築士会連合会 http://www.kenchikushikai.or.jp/index.htm	CPD認定プログラム http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd/nintei/hf.htm	都道府県単位士会
建築士	(社)日本建築士事務所協会連合会 http://www.nir.or.jp/		都道府県単位協会
登録建築家	(社)日本建築家協会 http://www.jia.or.jp/	CPD-認定プログラム一覧 http://jia-cpd.jp/cpd/prg_list.php	なし
総合建築業	(社)建築業協会 http://www.bcs.or.jp/	BCS-CPD [®] イデラムに則った会員企業のプログラム 協会主催のセミナー・講演会等	関西支部
学会	(社)日本建築学会 http://www.aji.or.jp/aihomej.htm	日本建築学会催し物・公募 http://www.aji.or.jp/network/scripts/index3.asp	9支部
建築設備士	建築設備士関係団体CPD協議会 http://www.iaaic.or.jp/bmeecod- (協議会の構成団体は以下の通り) (社)空気調和・衛生工学会 (社)電気設備学会 (社)建築設備技術者協会 (社)日本設備設計事務所協会 (社)建築技術教育普及センター	建築設備士CPD認定プログラム一覧を9地区別に http://www.iaaic.or.jp/bmeecod-program.htm http://www.shasei.org/ http://www.ieiei.or.jp/ http://www.iabmee.or.jp/ http://www.iaica.or.jp/ http://www.iaaic.jp/bmeecod.htm	
建築構造士	(社)日本構造技術者協会 http://www.isca.or.jp/	建築構造士登録更新要領 http://www.isca.or.jp/vol2/21se_news/kousinn.htm	8支部
積算系	(社)日本建築積算協会 http://www.bsii.or.jp/	http://www.bsii.or.jp/20cpd/index.html	
FM系	(社)日本ファシリティマネジメント推進協会 http://www.fjma.or.jp/index.htm	(資格登録更新制度)	
建設系	建設系CPD協議会 http://www.cpd-ccesa.org/ (協議会の構成団体は以下の通り) (社)空気調和・衛生工学会 (社)建設コンサルタンツ協会 (社)地盤工学会 (社)全国鐵構工業協会 (社)全国土木施工管理技士会連合会 (社)土木学会 (社)日本環境アセスメント協会 (社)日本建築学会 (社)日本技術士会 (社)日本コンクリート工学協会 (社)日本造園学会 (社)日本都市計画学会 (社)農業農村工学会	CPDプログラム情報検索として、構成団体にリンク http://www.cpd-ccesa.org/cpd_search.php (前掲) http://www.icca.or.jp/ http://www.iiban.or.jp/ http://www.isfa.or.jp/bus_profile/g_kanri.html http://www.eicm.or.jp/ http://www.isca.or.jp/index.html/ http://www.ieas.org/ (前掲) http://www.engineer.or.jp/ http://www.ici-net.or.jp/ http://www.landscapearchitecture.or.jp/dd.aspx http://www.soc.ni.ac.jp/cpi/ http://www.isidre.or.jp/	追加

活動型、参加型の単位取得の際、どの団体がCM業務に関連しているかチェックしてみよう！

ここに記載されていなくてもCMに関連する活動を行っているとすれば、CMAJ事務局までお問い合わせください。

2. CMAJに関連する社外団体のうち、独自のCPDシステムを運用していない団体

所屬・資格	団体名	備考
設備工事業	(社)日本空調衛生工事業協会 http://www.nikkuei.or.jp/ (社)日本電設工業協会 http://www.ieca.or.jp/	
建築工事業	(社)日本土木工業協会 http://www.dokokyo.or.jp/ (社)プレストレストコンクリート建設業協会 http://www.pcken.or.jp/index.html (社)鉄骨建設業協会 http://www.tekken-kyo.or.jp/ (社)日本サッシ協会 http://www.isma.or.jp/main.html	
不動産業	(社)不動産協会 http://www.enaa.or.jp/ (社)高層住宅管理業協会 http://www.kanrikyo.or.jp/	
その他	(財)エンジニアリング振興協会 http://www.enaa.or.jp/ 日本プロジェクトマネジメント協会 http://www.pmai.or.jp/ (社)カーテンウォール・防火開口部協会 http://www.cw-fw.or.jp/index.html	

CPD申請記入例 実務活動型 (A)

区分記号	プロジェクト名	業務期間	業務番号	業務概要と貴職の役割を簡単に記載する	申請単位	記入不要	
実務-A-1	Aビル新築プロジェクトマネジメント	開始年月	2008/12/1	1	Aビル新築工事プロジェクトマネジメントでPMとして従事	16.0	
		終了年月	2009/10/31				
		期間(月)	11ヶ月				
		算定式	8単位(責任ある立場等)×2.0(11ヶ月)=16.0				
実務-A-2	Bビル改修CM	開始年月	2009/3/20	1	Bビル新築工事CMのサブCMrとしてコスト管理を担当	4.0	
		終了年月	2009/5/20				
		期間(月)	2ヶ月				
		算定式	4単位(担当者)×1.0(2ヶ月)=4.0				
実務-A-3	C-1ビルリフォームCM、C-2ビル新築CM、C-3ビル改修CM	開始年月	2008/12/20	1	CM組織の統括管理	3.0	
		終了年月	2009/10/20				
		期間(月)	11ヶ月				
		算定式	3件×1単位=3単位				
実務-A-		年月					
		期間(月)					
		算定式					
		<p>組織の統括管理であるので、規模によらず3件×1単位=3単位 実務-A-3の項目は、Σ件数×1.0としてまとめて記述する。</p>					

※年10単位まで申請可能 (5年間で50単位が上限)

CPD申請記入例 実務活動型 (B)

区分記号	プロジェクト名 (業務名を記入する)	業務期間	業務 番号	業務概要と貴職の役割を簡単に記載する	申請単位	記入不要	
実務-B-1	Eダム施工管理	開始年月	2008/12/1	3	Eダム新設工事の総合建設業の施工者常駐現場工事監督として専門工事業をコーディネート	12.0	
		終了年月	2009/10/31				
		期間(月)	11ヶ月				
		算定式	4単位(責任ある立場等) × 2.0(11ヶ月) × 1.5(常駐) = 12.0				
実務-B-2	Fビル外壁改修設計 監理	開始年月	2009/1/20	7	Fビル外壁改修工事の積算業務を実施	1.0	
		終了年月	2009/2/10				
		期間(月)	1ヵ月未満				
		算定式	2単位(担当者) × 0.5(2ヶ月未満) = 1.0				
実務-B-3	G-1ビルリフォーム設計、G-2ビル新築監理、G-3ビル新築設計	開始年月	2008/12/20	2	G-1ビルリフォーム、G-2ビル新築監理、G-3ビル新築設計業務を受注し実施した設計組織のチーフ	1.5	
		終了年月	2009/10/20				
		期間(月)	11ヶ月				
		算定式	3件 × 0.5単位 = 1.5				
実務-B-		開始年月	組織の統括管理であるので、規模によらず3件 × 0.5単位 = 1.5				
		終了年月	活実-B-3の項目は、Σ件数 × 0.5としてまとめて記述する。				
		期間(月)					
		算定式					

※年10単位まで取得可能 (5年間で50単位が上限)

CPD申請記入例 協会活動型 (A)

区分記号	執筆した記事又は専門書 講師を担当した講習会等 講師を担当したCMスクール 活動を行った委員会	年月日時 (記事・専門書の 場合は発行日)	場所 (記事・専門書の 場合は発行組織・ 支部等)	申請 単位	認定 単位 (記入 不要)
協会-A-1	機関誌CMAJ2009年11月号CMガイド執筆	2009年11月1日	CMAJ	5	
協会-A-2	CMAJ、CMガイドブック執筆	2008年12月1日	CMAJ	10	
協会-A-3	CMAJ、北海道支部パネルディスカッション パネラー(3時間)	2009年6月1日	CMAJ北海道	3	
協会-A-		1単位 / 1時間 x 3時間 = 3単位			
協会-A-3	CMスクールでの講師(75分)	2009年6月25日	CMAJ東京	3	
協会-A-4	CMAJ、中国支部広報委員会出席(1時間)	2009年6月1日	CMAJ中国	1	
協会-A-		1単位 / 2時間 x 1時間 = 0.5単位 → 切り上げて1単位			

※年間合計単位数の上限なし

CPD申請記入例 協会活動型 (B)

区分記号	執筆した記事又は専門書 講師を担当した講習会等 講師を担当したCMスクール 活動を行った委員会	年月日時 (記事・専門書の 場合は発行日)	場所 (記事・専門書の 場合は発行組織・ 支部等)	申請 単位	認定 単位 (記入 不要)
協会-B-1	CMが世界を変える	2009年8月	建築〇〇誌	4	
協会-B-2	プロのためのCMガイド	2009年9月	CM出版	8	
協会-B-3	日本建築〇〇協会 主催 パネルディス カッション「今求められるCMとは」	2009年9月〇日 15時～17時	建築〇〇協会会館 大会議室	2	
協会-B-4	日本建築〇〇協会 CM基本問題委員会 CM検討WG 第1回	2009年6月〇日 15時～18時	建築〇〇協会会館 5F第一会議室	2	
協会-B-4	日本建築〇〇協会 CM基本問題委員会 CM検討WG 第2回	2009年7月〇日 15時～18時	(株)△△第26会議 室	2	
協会-B-					
協会-B-					

1単位 / 2時間 × 3時間 = 1.5単位 → 切り上げて2単位

※年間合計単位数の上限なし

CPD申請記入例 参加型 (A, B, C, D)

区分記号	参加したCMAJ総会 出席したCMAJ主催の講習会等 出席したCMスクール 出席したCMAJ以外の主催の講習会等	年月日時	場所	申請 単位	認定 単位 (記入 不要)
参加-A	CMAJ〇〇支部総会出席	2009年6月〇日	CMAJ〇〇支部	5	
参加-B	CMAJ東京講演会「今求められるCMrとは」聴講(2時間)	2009年9月〇日 15時~17時	CMAJ東京	2	
参加-C	CMスクール「コストマネジメント」聴講(2時間)	2009年5月〇日 16時~18時	CMAJ東京	4	
参加-D	日本ファシリティマネジメント推進協会 ファシリティマネジメント資格更新講習	2009年10月〇日 13時30分~17時30分	学術センター	4	
参加-D	日本建築 △△学会 「集合住宅とエコの取り組み」講習会	2009年7月〇日 15時~18時	△△学会大会議室	3	
参加-					

※年間合計単位数の上限なし

CMスクールをまとめて受講すると
年間20単位までOK

CPD申請記入例 自己学習型 (A, B, C)

機関誌・雑誌名 専門図書名(出版社名) 取得資格名	機関誌CMAJ 2009年11月号	年・月(週)・号(機関誌・雑誌) 発行日(専門図書等) 資格所得月日(資格取得) を記入。
記事名	学術の頁:CMAA解説	
執筆者	△△大学〇〇教授	
ページ数	4	
記事内容 取得資格の資格付与団体 名とその資格の概要 (特にCM業務に関連する 内容について記述するこ と)	CMAAは……	
	専門書等の理解は年間10単位が上限	
読者の意見 (特にCM業務に関連する 内容について記述するこ と)	CMAAの今後の活動は……	
	自己学習型の年間単位数合計は上限なし	

CPD 単位取得 集計表(1)

■ CCMJ資格更新 CPD単位概要表 (赤太字は今回の変更点) 2010.12.01

CPD プログラム	研修内容	単位算定の基本的考え方		区分記号	該当 申請用紙	
実務活動型 A (A) CM(PM)業務のマネジメント実務経験	プロジェクトの責任ある立場等	8単位 /1件	プロジェクトの実施期間による割り増し係数 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月~4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月~8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月~12ヶ月のプロジェクト x2.0倍 (注) 1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で段を分けて、年度ごとに算定式を記入する。	実務-A-1	申請用紙-3	
	プロジェクトの担当者	4単位 /1件		実務-A-2		
	プロジェクト外業務推進組織の運営または統括マネジメント(主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、1件につき1単位とする。		実務-A-3		
実務活動型 B (B) CM(PM)に関連する業務のマネジメント実務経験	プロジェクトの責任ある立場等	4単位 /1件	プロジェクトの実施期間による割り増し係数 2ヶ月未満のプロジェクト x0.5倍 2ヶ月~4ヶ月未満のプロジェクト x1.0倍 4ヶ月~8ヶ月未満のプロジェクト x1.5倍 8ヶ月~12ヶ月のプロジェクト x2.0倍 (注) 1年を超えるプロジェクトは、同一プロジェクト名で段を分けて、年度ごとに算定式を記入する。	実務-B-1	申請用紙-4	
	プロジェクトの担当者	2単位 /1件		実務-B-2		
	プロジェクト外業務推進組織の運営または統括マネジメント(主催者・管理建築士・管理職・技術スタッフ等)	規模によらず、2件につき1単位とする。		実務-B-3		
	プロジェクト単位で区切ることが困難な業務(建設行政・維持管理・研究・教育等の場合)	責任ある立場等の場合 1単位/月 担当者の立場の場合 0.5単位/月		実務-B-4		
実務活動型 小計		1年当たり10単位を上限とする				
協会活動型 A (A) CMAJへの自主的活動参加(専門的・主体的な参加に限る)	CMAJ機関誌およびその他出版物でCM業務に関連する記事の執筆(共著を含む)	5単位/1記事		協会-A-1	申請用紙-5	
	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	10単位/1冊		協会-A-2		
	同、講習会・パネルディスカッションでの講師	1単位/1時間		協会-A-3		
	同、CMスクールでの講師	3単位/1コマ(75分) または 1単位/30分				
	同、委員会での活動	1単位/2時間		協会-A-4		
協会活動型 B (B) CMAJ以外の専門団体等への自主的活動参加(専門的・自主的な参加に限る)	CMAJ以外でのCM業務に関連する出版物の記事執筆(共著を含む)	4単位/1記事		協会-B-1	申請用紙-6	
	同、専門書籍類の執筆(共著を含む)	8単位/1冊		協会-B-2		
	同、講習会・パネルディスカッションでの講師	1単位/1時間		協会-B-3		
	同、委員会での活動	1単位/2時間		協会-B-4		
協会活動型 小計		1年当たり10単位取得を目指す(上限なし)				

CPD単位取得 集計表(2) つづき

参加型	(A) CMAJ総会	本部総会および支部総会に出席(総会後の講演会等は別ポイント)	5単位/1総会	参加-A	申請用紙-7
	(B) CMAJ主催講習会等	CM業務に関連する講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席	1単位/1時間	参加-B	
	(C) CMAJ主催スクール	CMスクールへの出席	3単位/1コマ(75分) または 1単位/30分 ※ CMスクールをまとめて受講する場合は、累計単位の上限を1年間20単位とする	参加-C	
	(D) CMAJ以外の専門団体等主催の講習会等	CMAJ以外の専門団体等が主催した講習会・講演会・セミナー・パネルディスカッション等への出席、及び資格更新の講習会受講。	1単位/1時間 1年間20単位を上限とする。	参加-D	
参加型 小計			1年当たり10単位取得を目指す		
自己学習型	(A) 機関誌・雑誌記事等の理解	CMAJ機関誌記事でCMAJが認定したCM関連記事への研究(情報の要約と見解)	2単位/1件	学習-A-1	申請用紙-8
		上記以外で、CMに関連する記事への研究(情報の要約と見解)	1単位/記事	学習-A-2	
	(B) 専門書等の理解	報告書・専門図書等の研究(情報の要約と見解)	1単位/10頁 (1年間で10単位を上限とする) ※2010年度より適用し、過去には遡及しません	学習-B	
	(C) 資格取得への学習	CM業務に寄与する資格取得実績(更新は除く)	2単位/1資格	学習-C	
自己学習型 小計			1年当たり10単位取得を目指す		
注意事項	CCMJ資格更新は右の3条件をクリアしてください。	1. 最低2つ以上のCPDプログラムによりCPDポイントを取得すること。 ただし実務活動AとBの組み合わせや協会活動AとBの組み合わせは不可とする。 2. 参加型+自己学習型の合計で10単位以上/年となること。 3. CPDポイントの累計が、 60(3年間)~100(5年間)単位 となること。(登録時期により更新に必要なCPD累計ポイントが異なる)			
	時間・期間計算	時間・期間は全て実動時間(期間)とし、単位算定時には小数点以下切上とする 例)3.5時間は4時間、および1.5ヶ月は2ヶ月とする。			
	次回資格更新時へのCPDポイント繰り越し	資格更新時点でCPDポイントの累計が所要ポイント数を超過している場合、30ポイントを上限として、 次回のCPD研修に繰り越し、加算できる。 (※過去の総ポイント数は協会にて記録管理しています)			

※5年間で累計100ポイント以上を取得要

CPDポイント管理のアドバイス

- ① 自分のパソコン・デスクトップにCPD申請記入シート
のフォームをダウンロード（CMAJ-HP参照）
http://www.cmaj.org/shikaku_seido/CPDkensyu_html
- ② CPD単位取得につながる事項は都度、申請シートに
記入する習慣をつける（実務、研修・講習会、雑誌等）
- ③ CPD対象となりそうな雑誌記事等はコピー、ファイル
しておき、時間ができたら要旨・見解をまとめておく
- ④ 毎年11月末に年間CPD履修結果の申請を行い、CPD
単位認定審査を受けることが望ましい
（基本的に自己申告ですが、審査結果により単位認定されない場合も
あります！）
- ⑤ 自分の業務内容・繁忙度に応じて、取れるときにできる
だけ多くのCPDポイントを稼いでおいた方が安心！

CPD 審査体制：CPD 単位認定小委員会

- (1) 資格制度委員会内に「CPD単位認定小委員会」を設置
⇒ 2007年12月に設置し、活動中
- (2) 委員数 4 名程度（CMAJ協会委員の中から選定）
- (3) 必要に応じてCPD研修内容と単位数設定を見直す
 - ◆ 「CMAJ機関誌」のCPD単位対象記事の選定とポイント設定（協会HPより対象記事の確認ができます）
⇒ 2 記事／誌 × 年 3 回発行 = 6 記事程度（計12ポイント）
 - ◆ CMAJが主催するCMスクール、講習会、セミナー、パネルディスカッション等のCPDポイント設定

CPD 審査体制：CPD 審査小委員会

- (1) 資格制度委員会内に「CPD審査小委員会」を設置
⇒ 2008年に設置し、活動中
- (2) 委員数6名程度（CMAJ協会委員の中から選定）
- (3) CPD研修内容と履修ポイント取得状況を審査、確認、記録、管理する
 - ① CPD研修手帳の内容見直し
 - ② CCMJ登録資格者等からの問い合わせに対応
 - ③ CPD申請内容の提出、審査、単位認定、記録管理（毎年11月～1月）
 - ④ 資格更新認定の判断、CMAJ事務局への指示

CPD研修 ⇒ 継続は力なり！

CPD研修は、社会に役立つ
より有能なCMrになるため
の”自分への投資”ですよ！

～ おわり ～